

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



アフタースクール 『ポップクラブ』が願うこと

アフタースクール『ポップクラブ』は、1998年「保護者の就労に等に伴う留守家庭の子どもたちを対象に、家庭と連携をとりながら、豊かな放課後を提供すると共に、子育て支援をしていく」ことを目的として始めました。今年度で開所 22 年目となり、初年度の会員数は 23 名でしたが、現在は 90 名を超えるまでになりました。



～ポップクラブの願い～

- ①自由な雰囲気の中で、異年齢の子どもたちによる自主的な遊び集団を形成することを目指す
- ②基本的な生活習慣を身につけると共に、自立の精神を養います
- ③いろいろな世代の人たちとの交流を通して、優しさや思いやりの心に気づくことにより、豊かな感性を育てていきます
- ④さまざまな場面での命の大切さ、自然の大切さに気づくことができるような働きかけをしていきます
- ⑤家庭との連携・協力を密にすると共に、子育てのパートナーとして共に考えながら親と子それぞれの成長を促していきます

高学年メンバーとのかかわり

ポップクラブ開所後の数年間は幼稚園～2年生までの低学年の登録が全体の過半数をしめていましたが、ここ数年は3年生～6年生までの中高学年の登録も増え、ポップの雰囲気も少し変わってきたように感じています。今回は、高学年の様子をお伝えいたします。

高学年になると下校が16時を過ぎることが多く、また、習い事をするメンバーも増え、ポップクラブで過ごす時間は少なくなります。そんな限られた時間を、充実した時間にしてもらいたいと、4年前から4～6年生を対象とした、『音楽くらぶ』と『なんでもくらぶ』というくらぶ活動を毎月2回程度実施しています。『なんでもくらぶ』では、参加メンバーと一緒に1年間の活動案を考え話し合い、去年は4つのテーマを考えました。5月～7月は化学、9月～12月はスポーツや遊び、1月～3月は工作となりました。6年生のメンバーからテコの原理を学校で習ったから、それをくぎ打ちでやってみようという意見が出て、他のメンバーも賛成しました。そこで、木材とくぎと金槌を準備し、持ち手の位置を3段階に分けてどのような違いがあるのかの実験をしました。



(2面へ続く)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

(1面の続き)

最初は実験らしく、1回ごとの記録をボードに記入したりしていましたが、気づくとくぎ打ちが楽しくなり、全員が一心不乱に釘を打ち続けていました。普段の表情とはまた違った表情をしていて、「楽しかった。また次もくぎ打ちをやりたい。」と嬉しい感想を聞くことができました。スポーツ遊びの期間に行ったビーチボール手打ち野球では、野球を習っているメンバーが中心となりルール確認をしたり、ルールをあまり知らないメンバーに対して実際に動きを見せながら教える姿がありました。普段は本を読んだりカードゲームをしたり過ごしているメンバーも、この時はおもいきり走って声をだしていました。このように、限られた時間の中でも、異年齢の集団の中で自分たちの意見を出し合い、自分たちで決定し、実行するという企画から運営をメンバー自身が行い、充実した時間を過ごしている様子が見られています。

～第2の家として～

ポップクラブでは、第2の家として、安心して過ごせる環境を提供する為に、幼児～高学年、それぞれのメンバーたちの思いに寄り添えるよう意識しています。今後も、メンバーたちからだけでなく、保護者の方々からも「ポップクラブに子どもを預けていけば安心」「なんでも相談できる」「悩んだときはポップクラブ」という安心感を提供できるよう努力してまいります。

(アフタースクール 鹿野 弘枝)

世界一大きな授業 2019

主催 / 教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

My Education, My Rights ～教育はわたしの権利～

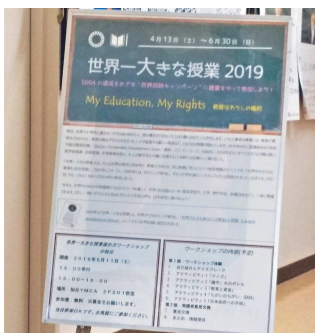
現在、世界で小学校に通えない子どもは6,400万人、読み書きができない大人は7億5,000万人も存在します。

こうした事実の背景には、戦争や貧困などはもちろん、教育の機会が与えられなかった人々が直面する厳しい現実など、さまざまな問題が隠れています。2015年9月、国連総会は「持続可能な開発目標」を採択し、2030年までにすべての子どもが質の高い就学前教育、初等教育、中等教育を受けること、また大人の識字率も大幅に改善することを新たな目標として掲げました。

「世界一大きな授業」とは、そのような世界の現状に目を向け、教育の大切さを同じ時期に考えようという地球規模のイベントです。2019年も世界100か国以上で開催し、参加者の声が教育政策に反映されるよう働きかけをしています。昨年、日本では583校・グループ、5万1,188人が参加し、今年は6万人の参加を目標に活動されています。

その「世界一大きな授業」が先日、5月11日(土)に仙台YMCA立町会館201教室を会場とし開催されました。今回はキャンペーンを広める人を対象としたワークショップで、「世界一大きな授業」を実施できる人材を育成することを目的とした内容でした。

子どもたちの幸福な未来や、より良い社会を目指していくうえで、教育の問題は改善しなければならないとても大きな課題のひとつです。私たち一人ひとりがこの問題について当事者としてあらためて考えるきっかけとして、この活動が多くの人たちに影響を与え、世界の教育の現状に少しでも良い変化が生まれていくことを願います。



一参加した「生徒」の感想一

初めてワークショップに参加いたしました。ワークショップでは、参加者が実際体験したことを授業をにどのように組み込み進めて行けばよいかということ、グループごとに学んでいくという内容でした。その中で、戦争や貧困や様々な環境により教育を受けられない子どもたちが教育を受けるために必要な資金は約37兆円であり、そのうち4兆円の補助を日本などの先進国が負担すれば実現できるということ

を初めて知りました。この額は途方もない額に思えますが、他の産業であるゲーム産業(13兆円)と軍需産業(191兆円)と比較し、戦争を数日止めれば賄える額であることも知りました。参加したメンバーは教員や難民支援のグループ、学生のみなさんでした。これからの未来を担う子どもたちに、大切なことを伝えていこうとする大きなムーブメントを感じることができました。(本部事務局 小幡 忠弘)



写真右：菊地弘生さん

『今年のテーマは“関わる全ての方が協働して取り組む”』

2019年仙台YMCAバザー実行委員長 菊地弘生（仙台青葉城クラブ）

皆さんこんにちは。仙台青葉城クラブの菊地と申します。

この度、2019年度の仙台YMCAバザーの実行委員長を担当することとなりました。

国際・地域協力募金では、委員のメンバー始めとし、ご協力いただきました、関係各位の皆さんには、募金活動の趣旨をご理解頂いたおかげもちまして200万円を超える募金が集まりました。感謝申し上げます。

2019年6月9日（第2日曜日）の仙台YMCAバザーは、『関わる全ての方が協働して取り組む』ことをテーマとして実施することとなりました。特に施設・部門・維持会員・ワイズメンズクラブの担当各位におかれましては、物品寄贈の呼びかけのご協力を宜しくお願い申し上げます。物品寄贈に関する詳しい内容は、バザーチラシでご確認ください。物品の受付は、バザー前日6月8日（土曜日）まで行っております。

バザーは、地域に開かれたコミュニティプログラムとして仙台YMCAの中心的な活動に位置付けられています。子どもの遊び場や模擬店など多くの皆様に楽しんで頂けるプログラムを用意しております。またバザーの益金は、仙台YMCAの活動を通して子どもたちへの健全育成費等の支援金に用います。6月9日のバザー当日もみなさまのお越しをお待ちしています。

YMCAと私

仙台市西山児童館

「なくてはならない存在」

児童クラブ5年生 / 松本愛柚夢さん
保護者 / 松本和香奈さん

YMCAとの出会いは娘が小学校に入学した時から、今年で5年目になります。娘は児童館で遅くまでお世話になっておりますが、リーダーの皆さんと毎日楽しい時間を過ごしているようで、早く迎えに行くのがっかりされることもしばしばあります…。

帰りにはお忙しい中玄関までお見送りをして下さり、今日あった出来事をおもしろおかしく教えていただき、楽しい気持ちで自宅に帰る事が出来ます。西山児童館では、ハロウィン、夏冬キャンプ、親子交流会等を催して下さい、ほぼ毎回参加しております。YMCAでのバザー、クリスマス交流会等のイベントにも参加させていただきました。

仕事をする私にとって、児童館はなくてはならない存在ですが、YMCAでしか味わえない沢山の経験を娘にさせてあげることが出来ました。YMCA・西山児童館にお世話になることができ本当に良かったです。小学校生活も後半ですが、引き続きよろしくお願いいたします。



2019年度YMCA大会のご案内

日時：2019年6月29日（土）午後2時～午後5時

会場：仙台YMCA立町会館 / 201教室および4階ホール

- 第1部 開会礼拝 201教室（午後2時～午後2時30分）
- 第2部 会員総会 201教室（午後2時35分～午後3時20分）
- 第3部 会員研修会 4階ホール（午後3時30分～午後5時）

- I. 演奏会「仙台YMCAスペシャルコンサート」 さとう音楽事務所 / 高橋佳生さん
- II. 第33回タイ農村ワークキャンプ報告
- III. 閉会挨拶



「お花見」



新年度が始まり、慣らし保育中のどんぐりさくらんぼ組（0歳児）です。お母さんの復職時期に合わせ、ゆったりと慣らし保育を行う中で、少しずつクラスの雰囲気や担任にも慣れ始めた子どもたち。天気の良い日には散歩に行っています。保育園の目の前にある公園では、皆でお花見をしました。ひらひらと散る桜の花びらを見たり、触れたり…。心地良い天気の中、お母さんの抱っこで眠るゆったりとした時間を過ごしています。

これから始まる園生活が、楽しいものとなるよう寄り添っていきたいです。

（YMCA西中田保育園 庄司 里保奈）

YMCA Information

仙台YMCAバザー開催を開催します！



毎年恒例の「仙台YMCAバザー」が6月9日（日）に開催されます。今年度も、大好評の物品バザーの他にも美味しい食べ物や子どもたちが遊べる模擬店など、子どもから大人まで楽しめる内容で皆さまのお越しをお待ちしております。

また、バザーの物品の寄贈もお願いしております。皆さまのご家庭で眠っている物品がございましたらご寄贈くださいますようお願いいたします。なお、ご寄贈いただけるお品物は未使用のものに限らせていただきます。恐れ入りますが、古本や使用したことのある中古の商品はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

（仙台YMCAバザー担当職員：増山和憲）

日時：2019年6月9日（日） 午前10時～午後2時

<お問合せ>

仙台YMCA 022-222-7533

仙台YMCA幼稚園 022-222-7634

YMCA西中田保育園 022-306-0730

YMCA南大野田保育園 022-748-0130

YMCA加茂保育園 022-777-6776

仙台市旭ヶ丘児童館 022-718-6628

仙台市富沢児童館 022-743-8085

仙台市西山児童館 022-251-0556

富谷市富ヶ丘小学校児童クラブ 022-342-0852

富谷市あけの平小学校児童クラブ 022-341-4280

富谷市日吉台小学校児童クラブ 022-341-2232

維持会費

皆様のお支えに
心より感謝申し上げます
(4月1日～4月30日)

◆一般会員

・維持会員 A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 千葉 睦雄さん 清水川 昌宣さん

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952